

第5学年1組 社会科学習指導案

平成29年6月1日 第2時限 5の1教室 指導者 矢澤 舞

1 単元名 気候の違いはどのように暮らしを変えているのか考えよう (15時間完了)

2 単元目標

- ①気候条件から見て特色のある沖縄県と北海道の人々の暮らしについて意欲的に調べたり、調べたことを発表したりしようすることができる。(関心・意欲・態度)
- ②特色ある地域に住む人々の暮らしや産業の特色について、インターネットなどの資料や地図を活用して調べることができる。(技能)
- ③気候条件と人々の暮らしや産業とのかかわりについて考え、環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっているということに気付くことができる。(思考・判断・表現)
- ④気候条件に合わせて産業が展開されていることや暑さや寒さを乗り越えるために行われている暮らしの工夫について理解することができる。(知識・理解)

3 単元構想

は男子15名、女子16名の31名で構成されている。社会科に関するアンケートを取ったところ、社会科が「とても好き」「まあまあ好き」という児童は18人である。好きな理由には、「世界のことが分かる」「調べられる」ということが、一方、嫌いな理由には「覚えられない」「難しい」ということが挙がっていた。また、「得意」「まあまあ得意」という児童は15人であった。調べることは好きで興味・関心はあるが、覚えなくてはならないことが多く苦手だと思っている児童が多い。

教材とする沖縄県は、暖かい気候を生かして、さとうきびやきくなどの生産を行っている県である。海水浴などを長く行えることや独特な文化があることから観光業も盛んである。また、暑さや台風をしのぐ様々な工夫を行い、住みやすい環境づくりを行っている。北海道は、寒い気候を生かし、カボチャやジャガイモなどの生産を行っている。また、スキーなどのレジャーで、観光客を呼び寄せている。そして、寒さをしのぐために様々な工夫が行われている地域でもある。

本単元では、導入として、沖縄県や北海道に住む人々の家の造りや産業における工夫、観光業の様子を知る。人々の営みを知る中で、暮らしの工夫が気候や環境に合わせた結果だということを理解する。また、さとうきびなどの特産物に実際に触れたり、現地の様々な立場の人々に話を聞いたりする中で、特色ある地域に住む人々の暮らしについても理解させたい。そして、住みやすい地域はどちらかということを考えるために、暮らしについて調べ学習を行う。その後、沖縄県と北海道ではどちらが住みやすいかを考えたり、話し合ったりしていく。これらの活動を通して、特色ある地域に住む人々が気候条件によって暮らしを工夫していることに気付くことができる社会的思考力を育てていきたい。

4 単元の評価規準

観点	評価規準
始動する力	沖縄県や北海道の気候条件とそれを活かした暮らし方に興味をもち、人々の生活や産業の様子について意欲的に調べることができる。
受けとめる力	現地の人の話や地図・資料を活用して、気候条件から見て特色ある沖縄県や北海道の人々の生活や産業について必要な情報から読み取り理解することができる。
伝える力	沖縄県や北海道の人々が、気候条件を生活や産業に生かしてくらしていることに気づき、それらについて調べたことをクラスで発表したり、まとめたりすることができる。
自己を見つめる力	北海道や沖縄県の人々の工夫した暮らしを学び、それぞれの良さについて自分なりの考えを持つことができる。

5 単元計画

活動内容	時間	教師支援 (思考を深めるための「スキル」とツール)		
<p>1 日本列島の地図を概観し、四季の変化や季節ごとの場所による違いを読み取る。</p> <p>・日本列島の中でも、降水量にもこんなに差があるんだね。・岡崎ではあまり雪が降らないよ。・桜の咲く早さや梅雨が来る時期も違うとニュースで知ったよ。・季節風の影響なんだね。</p>	2	<p>くらべる</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本でも場所によって気候の差があることに気付かせるため、3月の写真を見比べる。 <p>関連付ける</p> <ul style="list-style-type: none"> 太平洋側と日本海側で温度や降水量に変化があるわけを、日本列島の山脈の様子と結びつけて考える場面を設ける。 		
<p>2 沖縄県では地域の特徴をどのように生かしているのかを調べ、まとめる。</p> <p>・沖縄県ではゴーヤーなどの特産物があるね。・暑さや台風をどうしのいでいるのだろう。</p> <p>・沖縄県の人々は気候条件を生かして、産業や暮らしを工夫していることに気付く。</p>	3	<p>くらべる</p> <ul style="list-style-type: none"> 沖縄県の気候条件に気付かせるため、沖縄県と岡崎市の雨温図を比べる。 <p>関連付ける</p> <ul style="list-style-type: none"> 沖縄県が気候に合わせた工夫をしていることに気付かせるために、家のつくりや農業について考える。 		
<p>3 北海道では地域の特徴をどのように生かしているのか調べ、まとめる。</p> <p>・さとうきびではなく甜菜なんだ。・スキー場も多いんだね。・梅雨もないんだ。</p> <p>・北海道の人々は気候条件を生かして、産業や暮らしを工夫していることに気付く。</p>	3	<p>違いを見つける</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道の家と自分たちの家を比べ、家の造りの工夫を理解するために、気付いたことをベン図にまとめる。 <p>くらべる</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道の気候条件に気付かせるため、北海道と岡崎市の雨温図を比べる。 		
<p>4 それぞれの地域の特徴について詳しく調べる。</p> <table border="1" data-bbox="167 1377 762 1724"> <tr> <td data-bbox="167 1377 462 1724"> <p>【沖縄県】</p> <ul style="list-style-type: none"> 暖かいので、海やプールでたくさん遊べる。 暖房を使わなくていいので、電気代がかからない。 </td> <td data-bbox="462 1377 762 1724"> <p>【北海道】</p> <ul style="list-style-type: none"> 雪でも暖かく暮らせるように室内はどこでも暖かい。 海が近いので、海鮮料理が安くおいしく食べられる。 </td> </tr> </table>	<p>【沖縄県】</p> <ul style="list-style-type: none"> 暖かいので、海やプールでたくさん遊べる。 暖房を使わなくていいので、電気代がかからない。 	<p>【北海道】</p> <ul style="list-style-type: none"> 雪でも暖かく暮らせるように室内はどこでも暖かい。 海が近いので、海鮮料理が安くおいしく食べられる。 	5	<ul style="list-style-type: none"> 調べたいことが明確になるように、調べたことをボーン図にまとめる。 調べたことを整理したり、新たに調べたことを決めたりするために、それぞれ作戦会議を行う場を設ける。 <p>分ける</p> <ul style="list-style-type: none"> 調べた沖縄県と北海道について調べたことを、暮らし・農業・文化・観光の様子の4つの視点に分けて整理する。
<p>【沖縄県】</p> <ul style="list-style-type: none"> 暖かいので、海やプールでたくさん遊べる。 暖房を使わなくていいので、電気代がかからない。 	<p>【北海道】</p> <ul style="list-style-type: none"> 雪でも暖かく暮らせるように室内はどこでも暖かい。 海が近いので、海鮮料理が安くおいしく食べられる。 			
<p>5 北海道と沖縄県では、どちらが住みやすいかを考える。</p> <p>北海道は寒い。⇨寒さをしのぐために室内では暖房が完備されている。⇨雪かきが大変。</p> <p>・それぞれの地域で気候条件に合わせて工夫しながら生活していることに気付く。</p>	2 (本時2/2)	<p>理由付けする</p> <ul style="list-style-type: none"> 調べたことをボーン図にまとめさせ、根拠を基に意見を述べられるように助言する。 <p>多面的に見る</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの暮らしの良さを多面的に見られるように、マトリックスで板書する。 		

6 本時の学習

(1) 本時の目標

- ①北海道と沖縄県ではどちらのほうが住みやすいかを考えたり、話し合いに積極的に参加したりしようとするができる。 (関心・意欲・態度)
- ②北海道や沖縄県に住む人々が、気候条件によってくらしや産業を工夫していることを知り、気候とくらしに密接な関連があることに気付くことができる。 (思考・判断・表現)

(2) 展開

分	児童の活動	教師の支援	
3	1 前時までの活動内容を振り返り、学習課題を確認する。	「今までどんなことを調べてきましたか。」 ・学習課題を提示する。	
北海道と沖縄県ではどちらが住みやすいかを気候面から調べたことを基にアピールしよう			
5	2 北海道チームと沖縄県チームで分かれ、話し合いを行う。【グループ交流】	<ul style="list-style-type: none"> ・座標軸の好きな位置にあらかじめ名前の磁石を貼っておく。 「グループで調べてきたことや自分の主張を確認しましょう。」理由・わけ ・自分の意見に自信をもたせるために、同じ意見を持った友達と意見を交流させる場を設ける。 ・ボーン図を用いて、北海道に住んだ方がいい理由や沖縄県に住んだ方がいい理由を前時までに整理しておく。 	
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 【北海道】 <ul style="list-style-type: none"> ・魚がおいしい。 ・雪遊びがたくさんできる。 ・梅雨や台風がない。 ・体感の湿度が低い。 ・雪の発電がある。 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 【沖縄県】 <ul style="list-style-type: none"> ・海やプールで長い間遊べる。 ・マリンスポーツが楽しめる。 ・平均気温が変わりにくい。 </td> </tr> </table>		【北海道】 <ul style="list-style-type: none"> ・魚がおいしい。 ・雪遊びがたくさんできる。 ・梅雨や台風がない。 ・体感の湿度が低い。 ・雪の発電がある。
【北海道】 <ul style="list-style-type: none"> ・魚がおいしい。 ・雪遊びがたくさんできる。 ・梅雨や台風がない。 ・体感の湿度が低い。 ・雪の発電がある。 	【沖縄県】 <ul style="list-style-type: none"> ・海やプールで長い間遊べる。 ・マリンスポーツが楽しめる。 ・平均気温が変わりにくい。 		
20	3 北海道に住んだ方がいいか、沖縄県に住んだ方がいいかについて話し合う。 【全体交流】	<p>「北海道に住んだ方がいいか、沖縄県に住んだ方がいいか、調べたことを基に話し合いましょう。」多面的にみる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挙がった意見を項目ごとにマトリックスでまとめる。 ・調べたことやインタビューしたことなど、根拠を基に意見を述べている児童を賞賛する。 ・反対意見には先頭に△をつけて視覚化する。 ・気候に関する工夫に気付かせるようにするために、事実は白、気候に関する言葉はオレンジ、良さは赤色で色分けして板書する。 ・話し合いの中で、他の子の意見に繋げながら発言できている児童を称賛する。 ・自分たちが勧める地域のデメリットに関する意見も自分なりに受け止め、それに関する魅力や工夫を述べられるように、反対意見を把握する場を前時までに設ける。 ・理由を裏付ける資料や数値があるときは事前 	
	北海道の良いところ <ul style="list-style-type: none"> ・とれたての魚が食べられる。 ・電気代が沖縄県より少ない。 ・寒いけど、室内は暖房が完備されていて暖かい。 		
	沖縄県の良いところ <ul style="list-style-type: none"> ・海など、いい景色がたくさんあると教えてもらった。 ・暖かいので、明るく親切な人が多い。 ・うちなータイムがいい。 		
	北海道に対する反対意見 <ul style="list-style-type: none"> ・体育が外でできない。 ・雪かきを毎日やらなくてはいけない。 		
	沖縄県に対する反対意見 <ul style="list-style-type: none"> ・台風が多いから困る。 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・湿気が多くてカビが生える。 ・風力発電などの自然を生かした発電ができない。 	<p>に把握し、あらかじめ拡大コピーしたり、教材提示機で示したりして、すぐに使えるようにしておく。</p>
10	<p>4 座標軸にある名前の磁石を移動させ、理由を書く。【個】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくは沖縄県がいいと思っていたけれど、北海道では、雪発電ができるところが電気代が安くなるのですごいと思って、北海道の方に移動しました。 	<p>「今日の話し合いを通して、自分の立場はどう変化しましたか。理由もノートに書きましよう。」 関連付ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・座標軸の下に磁石を貼る時間を設ける。 ・理由をノートに書かせ、変化の大きかった児童と変化の小さかった児童2人を指名する。
7	<p>5 振り返りを行う。【個】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇さんの意見を聞いて、北海道を勧めていたけど、沖縄県も良いところがたくさんあるんだなと思いました。 ・〇〇くんの意見を聞いて、やっぱり北海道の方が室内は住みやすいと思いました。 ・どちらの地域でも、気候に合わせてたくさんの工夫をしていることが分かりました。 	<p>「話し合いや今の2人の意見を踏まえて、北海道と沖縄県を比べて分かったことをノートに書きましよう。」 くらべる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いを通して意見が変容した児童や自分の意見を深めることができた児童を意図的指名する。 ・どちらの地域でも気候に合わせて工夫をし、くらしていることに気付かせる。

(3) 評価

①北海道と沖縄県ではどちらの方が住みやすいか、自分の意見を調べたことを基に積極的に述べたり、話の中心を考えながら友達の意見を聴いたりすることができたか。

(活動2・3の様子から)

②北海道と沖縄県の気候の違いに目を向け、どちらのほうが住みやすいかを住まいや食べ物、過ごし方という観点から考え、気候とくらしの密接な関係に気付くことができたか。

(活動4の様子から)

(4) 板書計画

課題 北海道と沖縄県ではどちらが住みやすいかを気候面から調べたことを基にアピールしよう		
理由・わけ	北海道	どちらの地域でも、気候に合わせてたくさんの工夫をしている
沖縄県	多面的にみる	
寒流の影響で魚がたくさんとれるからおいしい 水がおいしい ミルクが新鮮 乳製品がおいしい 食物自給率が高い→食べ物が安い	食	めずらしい果物がたくさん食べられる 豚肉がおいしい (あぐー豚) 関連付ける
雪で発電ができる 高気密住宅・高断熱住宅 △電気代がかかる (だんぼう)	住	風通しが良いのでずしい⇒体感温度は低い △台風が来るので家にお金がかかる
ウィンタースポーツが長い間楽しめる 梅雨が少ない △熱中症が多い ファーム体験	過ごし方	マリンスポーツが長い間楽しめる 花粉症がない (杉の種類が違う) くらべる
平均気温が 25 度くらいで変わらず過ごしやすい 寒さに強いアスファルト=△こわれやすい	その他	最高気温が高くても 35 度以下 △スーツやコートがカビだらけになる
北海道	[] [] [] [] [] []	←授業前で貼る名札
	[] [] [] []	←活動4で貼る名札
		沖縄